

令和6年度「日本絹の里大学」受講生募集

今年も「日本絹の里大学」を開校します。
絹や蚕について専門家がわかりやすく解説いたします。
一緒に勉強しませんか！



《令和6年度カリキュラム》 (詳細は裏面をご覧ください)

期 日

講 師 紹 介

10/19(土)	① 元上毛新聞論説委員長	藤井 浩
	② 蚕糸科学技術研究所 主任研究員/技術士 (農業部門)	野澤 瑞佳
11/2(土)	③ 群馬大学 名誉教授	藤本 宗利
11/16(土)	④ 株式会社 Ay 代表取締役社長	村上 采
	⑤ KIRIJUM(キリジャン) 代表	岡部 利明
11/30(土)	⑥ 駒ヶ根シルクミュージアム 館長	伴野 豊
	⑦ 群馬県立日本絹の里 解説員	毛利 弘

- ◆会 場 日本絹の里 2階会議室
- ◆開講時間 13:30~15:50 (講義内容により時間が多少変わることがあります)
- ◆受講料 (教材費含む) 3,000円 (開校式当日に徴収いたします)
 - ・講義開催日は、特別展等の観覧料が受講生は無料になります。
 - ・受講年度の「日本絹の里紀要」を1冊差し上げます。
- ◆修了証書の授与 5講座以上出席された方には、日本絹の里館長から修了証書を授与いたします。
- ◆募集人数 50名 (先着順)
- ◆対 象 原則として全講座への参加をお願いします。
- ◆応募方法 往復ハガキの往信裏面に、①氏名(ふりがな)、②住所、③郵便番号、④年齢、⑤電話番号、返信表面に、ご自身の①住所、②氏名を記入のうえ、日本絹の里「日本絹の里大学係」あてにお申し込みください。

※切 令和6年9月30日(月) 必着



日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1

TEL 027-360-6300 / FAX 027-360-6301

令和6年度「日本絹の里大学」カリキュラム

開催日	時 間	講 義 題 目	講 師	講 義 内 容
10月19日 (土)	13:30~13:40	開 校 式		
	13:40~14:40	絹産業遺産群に学ぶSDGs II	元上毛新聞論説委員長 藤井 浩	昨年度は、世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産に共通する「自然へ畏敬」と「利他の精神」を取り上げ、その基本は今日の国際社会共通の目的であるSDGsと重なることを解説しました。第2回は群馬の絹産業に関わる先人たちの技術思想から、深刻化する地球規模の環境問題に対する取り組みの基本姿勢を学びたいと思います。
	14:50~15:50	カイコの病気と防ぎ方	蚕糸科学技術研究所 主任研究員/技術士(農業部門) 野澤 瑞佳	カイコもヒトや動物と同じく様々な病気に罹ります。養蚕現場で品質の良い繭を生産するためには、カイコの病気(蚕病)を理解して正しく防ぐことが何よりも大切です。本講義では、代表的な蚕病の種類(ウイルス病、糸状菌病、細菌病および原虫病)を紹介し、これらの病気を防ぐための視点や方法をお話します。
11月 2日 (土)	13:30~15:30 (途中休憩含)	源氏物語の世界 衣装と人から —玉鬘巻の衣配りをめぐって—	群馬大学 名誉教授 藤本 宗利	玉鬘(たまかざら)巻の末部には、光源氏が自身と関係の深い女性たちのために、正月の晴着を選んで贈るという場面が見える。その中で紫の上が源氏に、それを着る相手の容貌を想起しながら選ぶように言い、「着たる物のさまに似ぬは、ひがひがしくもありかし」と主張している。衣装と着る人の調和を理想とする当時の美意識を通して、『源氏物語』の装束描写の特徴を考察します。
11月16日 (土)	13:30~14:30	かたちを変えて文化を継承する	株式会社 Ay 代表取締役社長 村上 采	Ayは“文化を織りなおす”をミッションに紡がれた文化に向き合い、ほぐし、新しい価値を添えて発信するカルチャーブランドです。着物の需要低下にともない「伊勢崎銘仙」に向き合いアップサイクルして衣服へ、銘仙柄をデジタルアーカイブしたテキスタイル「あいのぬの」を開発し衣服をつくっています。文化の持つ本質を捉え現代に伝えています。
	14:40~15:40	国産シルクを使用した キリジャンブランド展開について	KIRIJUM(キリジャン) 代表 岡部 利明	スーベニアジャケット、通称「スカジャン」は戦後間もない頃アメリカ軍兵士の記念品として、ジャケットに刺繍したのが始まりと言われてます。当時物資統制などにより作ることの出来なかった絹糸を使った「本物のスカジャン」を作るため、当社は「kirijun(キリジャン)」を立ち上げました。販売までのエピソードと今後の展開についてお話します。
11月30日 (土)	13:30~14:30	カイコの突然変異体から学ぶもの	駒ヶ根シルクミュージアム 館長 九州大学 名誉教授 伴野 豊	カイコの体色が白以外のもの、繭の色も変化に富んでいるなど、変わった形質を持つカイコは遺伝学の発展や養蚕業の進展に貢献してきました。現在のゲノム編集技術を支えるカイコ系統の育成にも変異体が必須です。私たちの暮らしと共に活かされることを願いを込めて、これらカイココレクションを紹介します。
	14:40~15:40	特別展(夏休み展)「学ぼうカイコ」 条桑育によるカイコの大量飼育展示	群馬県立日本絹の里 解説員 毛利 弘	「上毛かるた」には蚕糸絹業に関する句が多くありますが、最近ではその実際を知る人は年々少なくなっているように思います。日本絹の里では、夏休み時期に特別展「学ぼうカイコ」を開催し「条桑育によるカイコの大量飼育展示」等を行い、カイコの生態や蚕糸絹業等について紹介しています。本講義ではその概要を紹介いたします。
	15:50~16:00	閉 校 式		